



日本語文化学専攻 博士課程後期課程・カリキュラムツリー



DP1

- 1) 日本語文化学、比較文化学、日中比較文学、日本語学、日本語教育学、言語学に関する高度な専門的知識と分析能力を身につけており、それを新たな課題の解決に応用できる。



DP2

- 1) 日本語文化学専攻での研究目標を明確に把握し、専門的な職業に従事するために、多角的で、深く、柔軟な思考力、また的確な判断力、表現力を獲得している。
- 2) グローバル時代に要請される高度な異文化理解、摂取能力、海外との学術連携・共同研究を担う実務的、構築能力を身につけている。



DP3

- 1) 日本語文化学専攻で培った高度で広範な専門知識と的確な分析能力を活用し、産業・教育・研究の分野において現代社会が直面する多様な課題を解決するとともに、国際社会において適切に対応できる能力を身につけている。
- 2) 多様な異文化を広く深く理解し、国際社会で相互理解を図りながら的確に発信できる能力を身につけている。

D3

博士論文

後

日本語文化学特別演習 F

応用日本語学特別演習 F

前

日本語文化学特別演習 E

応用日本語学特別演習 E

D2

日本語文化学特論 I～IV

応用日本語学特論 I～III

後

日本語文化学特別演習 D

応用日本語学特別演習 D

前

日本語文化学特別演習 C

応用日本語学特別演習 C

D1

後

日本語文化学特別演習 B

応用日本語学特別演習 B

前

日本語文化学特別演習 A

応用日本語学特別演習 A

専門科目

演習科目